Creative Enzymes®

カルバモイルリン酸シンターゼ（アンモニア）

Cat. No. EXWM-5785

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素は尿素回路における最初のコミットされたステップを触媒します。この反□は、重炭酸塩のリン酸化からカルボキシリン酸塩への三つの別々の化学反□を□て進行します。アンモニアがカルボキシリン酸塩に□して求核攻□を行い、カルバメートを生成し、カルバメートのリン酸化によりカルバモイルリン酸が形成されます。1分子のカルバモイルリン酸の合成には2モルのATPが利用され、この反□は本質的に不可逆的です。この酵素はアロステリック活性化因子であるN-アセチル-L-グルタミン酸を必要とします。cf. EC 6.3.5.5、カルバモイルリン酸合成酵素（グルタミン加水分解）。
別名	二酸化炭素-アンモニアリガーゼ; カルバモイルリン酸合成酵素; カルバミルリン酸合成酵素; カルバモイルリン酸合成酵素（アンモニア）; カルバモイルリン酸合成酵素; カルバミルリン酸合成酵素 I; CPSI（遺伝子名）; 二酸化炭素:アンモニアリガーゼ（ADP形成、カルバメートリン酸化）

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 6.3.4.16
CAS登□番号	9026-23-7
反□	2 ATP + NH3 + 重炭酸塩 = 2 ADP + リン酸 + カルバモイルリン酸 (全体反□); (1a) ATP + 重炭酸塩 = ADP + カルボキシリン酸塩; (1b) NH3 + カルボキシリン酸塩 = カルバメート + リン酸; (1c) ATP + カルバメート = ADP + カルバモイルリン酸
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。